

2017年度ティーチング・アワード 学生が選ぶ「いい授業」

学生の授業評価アンケートをもとに、優れた授業を行う教員らを選出する2017年度「東海大学ティーチング・アワード」の受賞者が決定。17年度は5人の教員が優秀賞に選出され、4月2日には各校舎で表彰式が行われた。

今年度の優秀賞には、科の野坂俊弥教授、海洋体育学部生涯スポーツ学 学部航海工学科の福田厳



山田清志学長(左)から表彰状を受け取る野坂教授

准教授、国際文 東海大学では、1993年度から学生による授業評価制度を全国の大学に先駆けて取り入れるなど、教育の質の向上に取り組んできた。その一環として2002年度から実施されている「ティーチング・アワード」は、履修者が20人以上の講義

科目を当該年度の春・秋学期の合計で3科目以上担当している教員が対象となっている。

選考にあたっては、教育支援センターが実施している学生による「授業についてのアンケート」の「総合評価平均評価点」「アンケート実施率」などを考慮したリストの中から、学部などが候補者を推薦。集計点の最も高い教員が最終候補として選出され、大学運営本部を中心に厳正な審査を経て決定される。

受賞した5人の教員は今後、FD活動の一環として、よい授業を行うための工夫を学内広報誌などで紹介していく予定となっている。